

会 議 録		令和 5 年 7 月 28 日 作成	令和 9 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府東山警察署協議会（令和 5 年度第 1 回）		
開催日	令和 5 年 6 月 29 日（木曜日）		
時 間	午後 2 時 52 分から午後 4 時 39 分までの間（107 分）		
場 所	京都府東山警察署 講堂		
出席者	平井会長、細野副会長、竹内委員、上田委員、高木委員、齋藤委員、村上委員、川端委員、田畑委員 計 9 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、刑務課長代理、地域課長代理、広聴・相談係長 計 12 人		
諮 問 事 項	1 管内の犯罪情勢について 2 管内の交通事故概要について		
会 議 内 容	1 署長挨拶 司会 副署長 2 会長挨拶 3 協議 (1) 諮問事項説明 司会 副会長 管内の犯罪情勢について～生活安全課長 【委員】自転車盗がかなり大きく増えているが、どのような場所で発生しているのか。 【警察】特徴としてアパートの駐輪場や自宅の軒先などで発生し、身近な場所でも無施錠の自転車が狙われている。 【委員】犯罪が起きやすい時間帯は、いつの時間帯なのか。 【警察】正確な資料がないため感覚的なことになるが、場所によっても変わってきていると思われる。アパート、自宅であれば夜間帯が多く、駅の周辺であれば終電後の時間帯が多いと見ている。 【委員】盗まれた自転車が「見付かる、見付からない。」、犯人を「捕まえる、捕まえられない。」の状況はどうなっているのか。 【警察】正確な数字を取っていないため、体感的ではあるが、交番で勤務している警察官は積極的に職務質問を行って犯人を捕まえており、高い		

会 議  
内 容

検挙率を誇っている。前署と比較してもかなり優秀だと思うが、当署では盗まれた自転車を見付けて返すよりも犯人を捕まえて返す方が多いと思う。

【委員】警察官は、どのような人に声を掛けているのか。

【警察】声掛けの理由は「自転車に乗っている人と時間帯、場所との違和感。」  
「夜に自転車のライトが点いていなかった。」「自転車が汚れている。」  
などであり、不審点を見付ければ積極的に声を掛けている。

【警察】一番分かりやすいのは、鍵が壊れている自転車に乗っていれば、まず間違いなく声を掛ける。

【委員】性犯罪の発生が意外に少ないと感じた。コロナ前と比べてどうなのか。

【警察】昨年、性犯罪は3件発生しているが、検挙率は150パーセントで、管内での発生件数以上の検挙をしている。

今年は発生が若干増加しており、既に昨年の3件を上回っている。増えているのは強制わいせつという性犯罪である。具体的には「後ろから抱きつかれた。」「マッチングアプリで出会った後、犯罪に巻き込まれた。」といった内容の被害申告が増えているが、今年も100パーセントに近い検挙率となっている。

【警察】性犯罪というのは、届出がなされず全く認知されないことがある。発生件数が少ないからといって安心せず、注意するよう伝えてほしい。

【委員】昨年、自宅の隣の家に空き巣が入り、とても怖い思いをした。防犯カメラを付けたが、今も不安を感じており、犯人が捕まったか教えてほしい。

【警察】昨年、当署管内でも出店荒しや住居侵入が発生している。他署と合同で昨年末から今年にかけて発生した40件ほどの侵入窃盗事件を検挙したが、犯行が被害届と合致している場合は、被害者に犯人を捕まえたことを連絡している。曖昧なところや、被害届と犯行状況が一致しない場合、被害者には連絡をしていないため、連絡がなければ検挙できていないと思う。

【委員】最近多くの外国人が東山区に来ているが、民泊を探していて間違えて一般民家の呼び鈴を押されることや、勝手に入り込んでくることがある。また、関西空港から来る中国人系の運転手が運転する白タクが増えており、観光客を降ろしてから、観光客が戻ってくるまで路上駐車をするため、交通渋滞を引き起こしている。運転手のマナーも悪いと聞かすが、対策はどのようにしているのか。

【警察】民泊と間違っ入られても刑罰的には犯意がないため、検挙することは難しい。そこで警察からは「玄関の施錠」をお願いしている。

会 議  
内 容

また、110番が入れば、警察官が現場に臨場し外国人に対して注意、警告をしている。

【警察】白タクの増加について、詳細な調査を行っていないため、正確な数は把握できていない。

東山署として検挙方針で取り組んでいくとともに警察本部と連携して外国人に対する啓発活動や、外国人がよく使う店舗等に対する啓発活動により白タク利用の防止を行っていく。

【委員】先日の会議で、清水坂、五条坂や清水道付近で路上駐車している白タクの運転手に動かしてと言ってもなかなか動かしてくれないため、交番に申し出てもなかなか対処してもらえなかったという話もあった。

地域の方々は、外国人が夜に入ってきて怖い思いをしたということも聞いており、施錠していたとしても呼び鈴を押されるため、防犯カメラを付けて対処しているが、不安解消には至っていない。難しいと思うが、何かいい方法があれば教えていただきたい。

【委員】ママ友から聞いた話だが、変な動きをしているおじいさんがいて、グルグル回ったり、ずっと子どもの顔を見て「にやっ」と笑ったりするが、不審者なのか精神的な障害があるのか分からない。警察はどういう状態なら対応してもらえるのか教えてほしい。

【警察】現場に不審なおじいさんと申告者がいれば、双方に確認をするのが一番確実なため、不審なおじいさんを見た時点で110番通報をしてほしい。警察官が現場急行し確認に行く。

【警察】110番の内容は、「不審な動きをしているおじいさんがいるので怖い。」と通報してくれたらいい。

(2) 諮問事項説明

管内の交通事故概要について～交通課長

【委員】京都女子大学の坂道をすごい速さで下っていく自転車がいるが、ほとんどの人がヘルメットをかぶっていない。実際、ヘルメットの着用が努力義務化となって、どのくらいの人がかぶるようになったのか教えてほしい。

【警察】4月1日にヘルメット着用の努力義務化がなされて、警察も着用率の調査を始めたが、集計が終わっていないため、直近の着用率が出ていない。厳密な数字ではないが、急激に増加したわけではなく、やや微増している。

これからもヘルメットの着用については、しっかりと啓発していく必要があると考えている。

【委員】交通事故の件数は少し増えていると説明があったが、どのような方

会 議  
内 容

が事故にあっているか分からなかった。

区役所では、東大路通を横断する歩行者と松原通を右折する車両により、東大路通の渋滞を引き起こしていることについて課題であると考えていることから、渋滞緩和を目的に歩車分離式信号への変更を検討していただきたい。

青パトの成り手が不足していると聞いたが、ボランティアの方が啓発している中で、活動にも影響してくるのではないのか。

青色防犯灯に犯罪抑止効果があると思われて、青色の灯火を点けて警戒しているのであれば、モデル地区として街頭を青色に変えるなど対策を取ることはできないのか

7月1日から法改正で免許がなくてもキックボードが乗れるようになり、車道にキックボードが多く走るようになると思われる。多くの外国人の方がキックボードに乗ると思われる。キックボードの駐車禁止違反や駐停車禁止違反の取締りの方法について、どのように考えているのか説明してほしい。

【警察】清水周辺は車両が歩行者に近いところを走っており、非常に混雑していることは、警察でも把握している。

先ほど委員から申出のあった歩車分離信号のことだが、信号をその制御にすると車両が渋滞する原因となるため、現状でも非常に車両があふれている状態であり、実現は難しいと考えている。

清水周辺については、車両の総量抑制という点で京都市都市計画局歩くまち京都推進室と連携し、観光駐車場を中心に車両が東山区まで入ってこない対策を進めている。

紅葉の季節になると非常に混雑すると聞いており、それまでに十分な対策が取ればと考えている。この問題については、これからも継続して対応していく。

7月1日から道路交通法が改正され、キックボードが特定小型原動機付自転車となり、運転免許がなくても運転できるようになった。16歳以上の方であれば運転が可能となっている。管内では、電動キックボードのシェアリングサービスで実際に電動キックボードが走行している状況である。現状ではそれほど多くの方が走行しているとは考えていないが、この道路交通法改正をもって増加すると考えている。

パリではシェアリングサービスを始めたことにより、実際に事故が増加したとニュースで報道されていたことから、当署としても法改正以降、電動キックボードの法律の遵守について、啓発と取締りの両輪で事故防止に努めていきたいと考えている。

【警察】青パトの成り手については、委員が言ったとおり高齢だから辞める

会 議  
内 容

という方もいる。青パトだけではなく、ボランティア自体、高齢化の問題がある。現役世代と呼ばれる方にも参画してもらい活発化又は継続できるよう、ボランティアの知恵を借りながら引き続き行ってきたいと考えている。

【委員】先ほど東大路通の信号規制が難しいと言われていたが、東大路通は土日は確かに渋滞している。平日は春と秋の観光シーズンは混むが、平日の午前中や昼間帯はあまり渋滞していないので、曜日によって信号機のインターバルを変えることはできないのか。

【警察】交通管制センターである程度、信号の長さの調整をすることができるが、細かい調整まではできないと聞いている。この時間帯、常にすいているのが、道路の通行量調査をしても完全に把握することが難しいこともある。特に東大路通について信号操作にまで反映されているかまで把握していない。今後は、状況を把握しながら委員が話したことができるのであれば検討していきたい。

対処療法的な対策になってしまうが、東大路通の取締りについては、車に対する取締りだけではなく、徒歩で歩行者や自転車への啓発を兼ねた取締りを重点的に実施している。警察官が通行する自転車や歩行者の違反を現認すれば警告をして、従わなければ自転車に関しては最終的に取り締まっている。

【委員】警察に言うことではないかもしれないが、観光シーズンのバス停に並ぶ人が多すぎる。京都市でも対策を取って、バス停に案内の方もいるが、改善していない。何かいい方法があれば、教えていただきたい。

【警察】東大路通の歩道は狭いと感じる。春の桜の時期は外国人が多くてまともに通ることができなかった。

東大路通を横断すれば危険なので、東西の信号を無視する外国人はあまりいないが、ほとんどの外国人が南北の信号を無視して横断している。歩道拡張は警察が行うことではないため、現状では何もできないことにジレンマを感じている。

【委員】一時、四条通のように東大路通を一車線にするといった構想もあったが、どちらがいいか分からない。時期的なもので、今は問題なく通れている。

【警察】署の前のバス停からバスに乗って通勤しているが、帰りに多くの方が並んでいて、バスに乗れないということが続いていたことがあり、委員の説明にとっても共感している。

実際に歩道が非常に狭いため、歩行者の方が多く並ばれることにより、高齢者の方や特に車椅子の方が通れないという話を聞く。個々具

会 議  
内 容

体的な通報があれば、警察官が現場に行って対応している。

コロナ前は観光シーズンなどの観光客が増加するときは、京都市が臨時のバスを運行したり、整理員を配置するなどの対応をとっていた。

この問題については、京都市と協議を続けており、京都市では、コロナ前に行っていた対策をこれから実施していくとのことであった。

我々としてもできる限り、影響が少ない形で整理できればと考えている。

【委員】花見小路通は車が通行できる道だが、外国の方が歩行者天国みたいに歩いている。皆さんの話を聞いていると大変なのは祇園だけではないことが分かり勉強になった。

何か良い案はないかと地元の協議会で話を進めているが、なかなか告知する方法が難しく、事が進んでいない。何か良い案があれば、教えていただきたい。

コロナ前は、私の店の暖簾で手を拭いたり、いろいろ困っていたが、まだ中国の方が来られていないため、そこまでではないが、今から対策を考えておかないといけないと考えている。

【委員】交通事故を起こす方の実態を知りたい。東山区では観光客の事故が多いのか。それとも事故が起りやすい場所があるのか。

【警察】観光客による事故は他署と比べると非常に多く発生している。5月末の数字は出ていないが、私が記憶している4月末の数字では、3割から4割くらいの事故が、他府県の方が絡んでいると認識している。

他の地区であれば地元の方に交通啓発活動を行っていけば、徐々に定着していくが、東山区に関しては、事故の3割以上が他府県の方で、そこを減らすのは交通安全教育の面では難しく、取締りで抑止をするとなると厳しい環境であると認識している。

交通事故がよく発生する場所については、当署管内は直線の道路が多いため、注意力が散漫となって大通りに面した信号で追突する事故が多く発生しているが、一方通行の路地で発生する事故は少ない。

人身事故ではないが、細い道で離合する際の接触事故が、他の地区と比べても非常に多く発生している。これは、他府県の方が、細い路地に入り込み、離合等する際、慣れない道で接触している事故が発生していると考えている。

【委員】大学としてもヘルメットの義務化は気にしているが、危険防止という理由だけでは、大学生は素直にかぶってくれないため、大学生でも抵抗なくかぶってもらえる、良い知恵があれば教えていただきたい。

【警察】ヘルメットがかっこ悪いといったところは、以前からずっと言われており、この努力義務化がなされる前から子どももあまりかぶりが

会 議  
内 容

らないという話は聞いている。

ただ、最近になってきて婦人用自転車に合うヘルメット、女性がかぶっても抵抗がないヘルメットが実際に販売されている。警察でも委員から申出があったことを周知するために、交通安全運動のイベントでヘルメットのファッションショーを開催している。

1階の交通課の入口の横の壁にヘルメットを飾っている。この中には女性用のヘルメットもあるので、帰る時に見てほしい。

当署管内での把握はないが、府下ではヘルメットの普及に関して企業が従業員にヘルメットをかぶってもらうために、補助金を出している企業や団体があると聞いている。

ヘルメットは意外に高く、数千円から一万円近くするものまでであるため、そういった方法もよければ検討してほしい。

4 事務連絡

令和5年度第2回協議会は、9月の開催を予定している。

以上

## 第1回京都府東山警察署協議会の開催状況

